

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・理念、方針を明文化、自社のグループウェアに掲載し全職員に共有している。 ・単年度ごとの重点事項を毎年職員に周知し、達成に向け取り組んでいる。								8	9							17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス規定、職員倫理規定があり、法令遵守の重要性を全職員に対し発信するとともに啓発を行っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・コンプライアンス行動規範に公正な取引に努めることを謳っており、契約に関わる職員を中心として、全職員に向け、その重要性を発信している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・企業活動が社会・環境に及ぼす影響として、安全な医療の提供を行うことと認識しており、その担当組織として「医療安全管理委員会」を設置している。委員長として診療部長を任命し、医療事故等に関する分析・評価や防止のための職員教育等に取り組んでいる。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産権について必要な場合には契約書上に明記するよう、会計規則に定めている。また、知的財産の保護については品質管理委員会にて検討中である。							8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護研修会を開催し、情報漏洩防止を徹底している。 ・自社のグループウェアを利用して、グループ会社内で発生してしまった事案やインシデントにかかる情報共有を行い、危機管理意識を啓発している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全般)	●		・お客様サービス向上委員会を設置し、受診環境の改善・整備に取り組んでいる。 ・受診者満足度アンケートを実施・分析し、満足度向上に取り組んでいる。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止・倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震や水害などの自然災害等に備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。							9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・事業承継に関し、将来構想委員会にて検討、対策を行っている。						8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・昇格、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定め、研修の実施、相談窓口の設置を行っている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生委員会の開催、産業医・衛生管理者・担当者での職場巡回を行い業務中の事故防止のための対策を講じている。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・全職員(正職員・嘱託職員・臨時・パート)の公正な待遇を行っている。 ・職務内容や責任の程度、配置転換の有無など業務範囲の基準を設け、正社員と非常社員の違いを明文化した就業規則を整備しており定期的に改訂している。				5.5		8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、有給休暇や育児時短勤務などの取得奨励を実施している。 ・残業は就業管理システムへの事前申請とし、上司が承認することで不要な残業を防止するよう取り組んでいる。 ・ノー残業デーの定着のため館内放送を行っている。 ・DX化を推進することで業務の効率化を図り、医療職の残業時間削減に取り組んでいる。		3		5.5		8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・教育研修推進室を設置して研修教育体制の整備を行っている。外部研修への必要経費の支給を行い、受講を奨励している。			4	5.5		8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断、インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・精密検査対象に対し、受診勧奨を実施している。 ・ストレスチェック後の高ストレス者に対し、希望者に保健師面談を実施している。		3				8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種・性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・障がい者の雇用は法定雇用率を維持しており、同じ職種や雇用形態であれば俸給に差はない。 ・成果・能力に応じた人事評価制度を導入している。 ・育児・介護中の社員に対して、福利厚生の手引きなどを用いて時短勤務などの柔軟な働き方を積極的に推奨している。			4.4 5.5			8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議ツールを導入し、遠隔面談を進めている。		3				8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・WEB予約システムを個人及び一部団体向けに導入し、予約業務のオンライン化を進めている。 ・SMSを活用し、日程通知文書のペーパーレス化を進めている。 ・胸部レポートシステム、放射線量管理システム導入で、業務効率化、ペーパーレス化をおこなった。(放射線診断部) ・自動チェックイン機、Web問診システム、自動精算機を導入し、正確性、効率性を高めている。 ・施設外リモート接続の実施により、業務の効率化に取り組んだ。 ・Web問診システムではAI翻訳機能を導入しているが、今後、対面時におけるAI翻訳機の導入に向け検討を進めている。							8	9.1		11	12							
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●				3	4			8	9		12									

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・特別管理廃棄物を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。 ・廃棄に関しては業者委託し、適切な処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力会社から使用量グラフを取得し、職員に周知することで節電に取り組んでいる。 ・LED照明への切り替えを進めている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて、CO ₂ 排出量を算出している。 ・LED照明への切り替えを進め、電力使用量の抑制に努めている。 ・社用車の一部でハイブリッド車を使用しており、CO ₂ 排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・受診者へのビニール袋の配布を廃止することにより、プラスチック等の使用削減に取り組んでいる。 ・結果用プラスチックファイルを紙ファイルに切り替え、プラスチック削減に取り組んでいる。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・紙ごみ、プラごみ等の処理について、分別の徹底と共に再利用を行う業者に委託している。 ・ラベルレス飲料(茶・水)の積極的な購入を推進している。 ・検査結果をオンラインでのデータ収集に切り替え、WEB問診の導入でペーパーレス化に取り組んでいる。 ・グループウェアのワークフロー機能を活用し、ペーパーレス化に取り組んでいる。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水トイレの設置や擬音装置の取り付けにより、節水に取り組んでいる。 ・定期的に水質調査を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入人、リサイクル製品認証等)。	●		・持続可能な森林の利用を推進するFSC認証紙を利用している。						9.4				12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・受診者へ提供している食事について、キャンセルが出た場合は職員の検食にまわし廃棄量の削減に取り組んでいる。 ・賞味期限が間近な食品は、本来のメニュー以外でも使用する。また、真空調理機を使用し保存状態を高めて保存をし、廃棄を減らしている。	1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・敷地内の植栽について、定期的に管理している。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・LED照明への切り替えを進めている。 ・人感センサーによる点灯消灯へ切り替えを進めている						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・持続可能な森林の利用を推進するFSC認証紙を利用している。					6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックファイルから紙ファイルに切り替え、プラ削減に取り組んでいる。										12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO ₂ 排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO ₂ 排出実質ゼロを目指し、計画的にCO ₂ 削減に取り組んでいる。	●										9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスの質を確保するため、総合精度管理委員会や健康支援サービス品質管理委員会を設置し、マニュアルの整備や効果のあった取り組み等を関係職員で共有、活用している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・スローブの設置など、ユニバーサルデザインを考慮している。 ・LGBTQや介助が必要な方に配慮した多目的更衣室を整備している。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・提供している食材について、積極的に熊本県産食材を使用し地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・ボランティア休暇制度を制定しており、ボランティア参加を奨励している。 ・有事の際は、被災地に救護班の派遣を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防火防災対策委員会による訓練を定期的に行っている。(火災想定の避難訓練・地震想定訓練など) ・事業所において、防災グッズを常備し、毎年チェックを行っている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学生、高校生や大学生のインターンシップ、医療系学生の実習受け入れを積極的に行っている。				4				8.6		10.2							17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内大学等に採用情報を配信し、地元の学生を積極的に雇用している。					4.4				8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●		2			4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。